

令和3年2月定例会

# 議案説明資料 予算に関する説明書

(令和3年度当初予算関係)

労働委員会事務局

\*各事業の説明資料の「本年度」の欄は来年度の当初計上額  
「前年度」の欄は今年度の当初予算額  
「比較」の欄は「本年度」-「前年度」の額

\*トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

令和 3 年2月定例会議案説明資料目次(予算関係)

労働委員会事務局

(一般会計)

議案番号	件 名	課名等	頁
議案第1号	令和 3 年度鳥取県一般会計予算		
	1 当初予算説明資料	(総括表) 労働委員会事務局	1
	2 歳入歳出事項別明細書		5
	3 節の説明		6

議案第1号

議案説明資料総括表

労働委員会事務局（単位：千円）

所属名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(一般会計) 労働委員会事務局	96,086	97,569	△ 1,483				96,086	
合 計	96,086	97,569	△ 1,483				96,086	

説 明

労働委員会の業務に要する経費である。

令和 3 年度一般会計当初予算説明資料

5 款 労働費

3 項 労働委員会費

労働委員会事務局（内線：7559）

1 目 委員会費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
委員会費 （委員会運営費）	33,902	34,204	△ 302				33,902	
トータルコスト	89,349千円（前年度89,294千円） [正職員：7.0人]							
主な業務内容	労働委員会の運営、労使関係の公正な調整による労使紛争の解決促進							
工程表の政策目標（指標）	—							

事業内容の説明

1 事業の目的概要

労使関係の公正な調整を図り、労使紛争の適正な解決を促進するための労働委員会の運営及び労使紛争の事件処理に要する経費である。

2 主な事業内容

(1) 不当労働行為の審査

労働組合法の規定に基づき、労働組合等と使用者との間の不当労働行為事件について審査を行い、的確な命令を発することによって、労使関係の正常化を図る。

(2) 労働争議の調整（集団調整）

労働関係調整法の規定に基づき、労働組合等と使用者との間の労働争議について、実情調査並びにあっせん、調停及び仲裁を行い、労使関係の安定化を図る。

(3) 個別労働関係紛争のあっせん

鳥取県個別労働関係紛争の解決の促進に関する条例の規定に基づき、労働者個人と使用者との間の個別労働関係紛争について実情調査及びあっせんを行い、実情に即した迅速かつ適正な解決を図る。

(4) 労働相談

鳥取県個別労働関係紛争の解決の促進に関する条例の規定に基づき、労働関係に関する事項（労働者の募集及び採用に関する事項を除く。）について労働相談を行い、労使紛争の未然防止及び自主的解決の促進を図る。

(5) 委員会の運営、会議等

会 議 等	概 要
定例総会	原則として月2回開催し、労働委員会の運営について決定する。
公益委員会議	不当労働行為事件の審査及び労働組合の資格審査等を行う。
諸会議	中央労働委員会及び各都道府県労働委員会等との連絡会議に参加する。

3 事業目標・これまでの取組状況

労働委員会の運営について、労働組合法、労働関係調整法、労働委員会規則において規定されている事項を適正に処理することを目標とする。

これまでの取組において、個別労働関係紛争あっせんの取扱件数が、近年、全国労働委員会の中でトップクラスの実績を挙げている。

令和 3 年度一般会計当初予算説明資料

5 款 労働費

3 項 労働委員会費

労働委員会事務局（内線：7559）

1 目 委員会費

（単位：千円）

業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
委員会費 (労使ネットとつとり広報・機能強化事業)	4,429	5,067	△ 638				4,429	
トータルコスト	4,429千円（前年度5,067千円） [正職員：0人]							
主な業務内容	個別労働関係紛争処理機能を強化するための広報・PR及び基盤整備							
工程表の政策目標（指標）	—							

事業内容の説明

1 事業の目的概要

個別労働関係紛争の迅速かつ適切な解決及び未然防止を図るために労働委員会に置く個別労使紛争解決支援センター（愛称「労使ネットとつとり」）の存在を広報・PRするとともに、労働委員会が行う紛争処理の機能を強化するために要する経費である。

2 主な事業内容

「労使ネットとつとり」の広報・PR及び委員・あっせん員・職員の資質維持・向上を目的として研修を行う。（中央労働委員会実施の研修、個別労働紛争解決研修、あっせん員候補者研修、労働法実務研修、講師による研修・セミナーの実施、先進事例の調査・研究等）

区 分	概 要
広報・PR活動	労働相談会の実施や広報媒体・啓発物品を活用した広報を実施することにより、「労使ネットとつとり」の行うあっせん・労働相談を県民にPRする。
委員等の資質維持・向上	労働委員会の実務に造詣の深い労働法研究者、実務家等の専門知識・経験を有する講師を招聘し又は委員を派遣して、研修を行う。また、地域の雇用・経営情勢、先進的な企業経営、労使関係の取組等について調査を行う。
あっせん員候補者連絡会議・研修会	円滑なあっせん手続の実施に資するため、あっせん員候補者26名を対象に、連絡会議・研修会を開催する。

〔参考〕



労使ネットの趣旨

労使間に話し合いのためにネット(網)をはり、紛争解決を支援します。

ロゴマークの趣旨

楕円の輪は、労働者と事業主とのトラブルの間に立ち会うあっせん員を表現しています。公労使の三者構成の重なりにより、紛争が円満に解決し、和（ハートの輪）が生まれる様子をイメージしています。

3 事業目標・これまでの取組状況

個別労働関係紛争の迅速かつ適切な解決及び未然防止を図るために労働委員会に置く個別労使紛争解決支援センター（愛称「労使ネットとつとり」）の存在を広報・PRするとともに、労働委員会が行う紛争処理の機能を強化することを目標とする。

これまでの取組において、県内の労働紛争解決関係機関と連携し、労働紛争予防セミナーや出前講座、労働相談会を開催するなどして、当支援センターの周知を図るとともに、労働紛争の未然防止に努めてきた。

令和 3 年度一般会計当初予算説明資料

5 款 労働費

3 項 労働委員会費

労働委員会事務局（内線：7559）

2 目 事務局費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
事務局費 (職員人件費)	57,305	57,848	△ 543				57,305	
事業内容の説明 事務局職員 8 名分の人件費である。								
事務局費	450	450	0				450	
トータルコスト	8,371千円（前年度8,320千円） [正職員：1人]							
主な業務内容	労働委員会事務局の運営							
工程表の政策目標（指標）	—							
事業内容の説明 1 事業の目的概要 労働委員会業務の迅速かつ円滑な遂行を図るための事務局の運営に要する経費である。 2 主な事業内容 労働委員会事務局の運営に要する経費である。								

令和 3 年度 当初予算歳入歳出事項別明細書(労働委員会事務局)

(単位：千円)

款 項 目  節 別	5 款 労働費						労働委員 会事務局 合 計
	うち労働委員会事務局						
	3 項 労働委員会費		1 目 委員会費	2 目 事務局費			
1 報 酬	264,500	26,569	26,569	26,569			26,569
2 給 料	206,604	30,608	30,608			30,608	30,608
3 職 員 手 当 等	143,645	16,569	16,569			16,569	16,569
4 共 済 費	114,554	10,128	10,128			10,128	10,128
5 災 害 補 償 費							
6 恩 給 及 び 退 職 年 金							
7 報 償 費	162,362	185	185	185			185
8 旅 費	28,956	4,903	4,903	4,853	50		4,903
費 用 弁 償	13,129	3,249	3,249	3,249			3,249
普 通 旅 費	5,202	1,369	1,369	1,319	50		1,369
特 別 旅 費	10,625	285	285	285			285
9 交 際 費	50	50	50	50			50
10 需 用 費	31,959	2,416	2,416	2,116	300		2,416
11 役 務 費	23,156	3,006	3,006	2,956	50		3,006
12 委 託 料	656,236	110	110	110			110
13 使用料 及び 賃借料	88,468	1,442	1,442	1,392	50		1,442
14 工 事 請 負 費	30,575						
15 原 材 料 費	1,920						
16 公 有 財 産 購 入 費							
17 備 品 購 入 費	2,434	100	100	100			100
18 負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	180,238						
19 扶 助 費	374						
20 貸 付 金							
21 補 償、補 填 及 び 賠 償 金							
22 償 還 金、利 子 及 び 割 引 料							
23 投 資 及 び 出 資 金							
24 積 立 金	186,991						
25 寄 付 金	4,818						
26 公 課 費	60						
27 繰 出 金							
計	2,127,900	96,086	96,086	38,331	57,755		96,086
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	887,666					
	使 用 料 ・ 手 数 料	12,232					
	分 担 金 ・ 負 担 金 ・ 寄 付 金	5,000					
	起 債	13,000					
	財 産 収 入	15					
	そ の 他	49,551					
一 般 財 源	1,160,436	96,086	96,086	38,331	57,755		96,086

節 の 明 細

項		目	金額(千円)等
5 款	労働費		
	3 項	労働委員会費	
		1 目 委員会費	
		報酬	・ 労働委員会委員 15人
			・ あっせん員 27人
		2 目 事務局費	
		給料	・ 一般職員 8人